



Subaru

男声合唱団

ニュース№579

16. 9. 14

## 「白樺」「わたしの朝・・・」の簡単一口メモ！

(内部資料)(9月11日レッスンより)

9月11日

### □「白樺」一口レッスンメモ

#### 1番「おとめのかみにふれー」

- 「おとめ」：オッサン声は駄目！「おとめ」の「お」はしゃくらない。「め」横の声を出さない。「おとめ」で声は1列に。「め」を横に出さないで「お」とおなじ縦に「おとーめー」と。
- 「かみにふれー」：「ふれー」の「ふ」が合わない。「ふ」を「れ」より強く。「ふ」から「れ」に行くのにタイミングが合わない人がある。「れー」は細い息のままで！横に強く言わない。
- 「そのまなざしおいー」：「そ」は”S”をつける。(はっきりと“そ”)
- 「よもすがらーざわめーくー」：「すがら」の「が」は鼻濁音。
- 「しらかーばー しらかーばー」：4度の純正に近く。最初の「しらかーばー」の「かばー」BR・BSから”うなり”が聞こえる。控えた音で。音が最初少し違ったかなと思っても、途中から切り替えて合わせばよい。
- 「なにをつげるー」：ことばを揃えて！「るー」音程そろえて！

#### 2番「しらかーばのーうーたーはー」：

- 「うーたーはー」のタイミングがずれる！揃えて！  
「うーうたー」の「うーう」下がるのが早い人がある。切れないでつないで「うー」をあとの「たー」につなげる
- 「かのはるのうたかー」：つまらなく聞こえてくる。気持ちを豊かにして、一言一言をていねいに。
- 「たたかいはー」：「たたかい」がきつくて平べったい「横声」に聴こえる。縦の声で！もっと気持ちが入っている！

#### 3番「モスクワ郊外の」：ロシアっぽい発音で！「モスクワ」を

- 「はずーれ」：「ずーれ」ポルタメントは無し！
- 「しらかーばーしらかーばー」：切らないで続けてほしい。
- 「なにをわれにつげるー」の最後の「るーー」最後揃えよう！うなりが聞こえないように、苦しかったらやめる。人に任せる。少し残っているなあ・・・くらいに延ばして。

### □「わたしの朝は海からはじまる」一口レッスンメモ

(1頁目)

#### BR・BS「ヨーシドットオ」：

- 「ヨーシ」の「ヨー」が軽く聞こえる。もっと大きく抱え込んで。繰り返してだんだん疲れてくる。「ヨーシドット」も次の「ヨー」遅れるな！「ドット」早くならないで。最後まで頑張っ合わせて！

**BR「b´」(ファミファソ)：上がった音ははっきり上がる。自信もって。**

□「ヨーシドット」の音量は2小節目からpと書いてあるが、このくらいの人数では大きめの今の音量が良し。pだと何を言っているのか？聴こえない。主音が聞こえるようにとpにしたのだろうが、pで歌うと弱弱しく聞こえる。”船のエンジン役“として、乗せるように“ボリューム出して欲しい。

**T1・T2 (1小節～16小節)**

□最初の1小節目、次の6小節目「おーいおーいおーい」をレガートで歌うかどうか？レガートにしよう！「わしのむねをたたいてくれー」「しおなりーがきこえるだろうー」は漁師のオッサンらしく力強く歌おう！

□「わしのむねをたたいてくれ」「しおなりがきこえるだろう」一番大事なことば！“うまく歌ってほしい！”各パートで“うまい”歌い方をする人のまねをして！

**T1**：「おおーい おおーい おおーい」：怒鳴りすぎ！きれいな発声で“おーい”を  
「わしのむねをたたいてくれー」：「れー」は長めに！

**T2**：「しおなりがきこえるだろう」：「だろう」ごまかさずに、「だろう」しっかり届けろ！

**T1・T2**：「うしないたくないふるさとー」：「ふるさとー」にパンチがない。「と」の音程あわせて！「と」をはっきりとした音で。

「おおーここには わしらのー」：「おおー」偉そうにして！勢いがあって良し！

「わしらの～うみが」：「の～うみ」は力づよく勢い出して良し！

**BR・BS**；「よーしどっと」の聞かせどころは、6小節目「きこえるだろうー」に続く7小節目「ドット」、「うみなりーがー」(ドット)、「きこえるだろうー」(ドット)、「うしないたくないふるさとー」12小節(ヨーシドット ヨーシドット)とT1・T2が短音を伸ばしている間のうしろで、「ドットオ」をしっかり聞かせているところがおもしろい。自信をもって合わせて「ヨーシドット」出して！

**2頁目～**

**17小節～22小節**

□**BSユニゾン**「くらいおもいそらに～生きてきたー」：非常にうまくなった！リズム・ことば合っていて迫真的！

□**T1・T2・BR**：「WU-WU-」(うー)口とがらして、音程を正しく、小節のあたまたの“WU-”にsf・アクセントが欲しい。ゾクゾクとする音、“さあ行くぞ！”“の感じを「WU-WU-」で。

**22小節～「わしらのあさはー」**：ノンレガートで、元気よく！

「あさはー」の「はー」和音揃えて！「はればれと」しっかり音を出す！

「わしらのあさ」の「あさ」、「わしらのうみ」の「うみ」：「の」弱く「あさ」「うみ」を強調して！

**26小節～「おおーゆくぞーわしらのうみへ おおーゆくぞーわしらのうみへー」**

**29小節目の「わしらのうみへー」**揃っていない人がいる！最後まで音を合わせて、リズム揃えて！

3 2小節～BRユニゾン「しおかぜをきってゆけばー」:

3 7小節～BRユニゾン「ひきあげるうおはうみからあがるうおは」:

ほっとさせるバリトンの声で、優しくはっきりと、しっかりと歌う!

T 2「WU-WU-」:つまらなそうにうたわずに!思い入れ、心を入れた「WU-WU-」を!

3 9小節「どれもはじけるいきのいいやつー」:

「どれも」:怒鳴らないで!きれいな声で!アクセントははっきりと!

「いいーやつー」:リズム合わせて!

3 3小節～3 6小節「わたしの朝は海からはじまる～わたしの海はあさからはじまるー」:

この曲は先に「わたしの朝」つぎに「わたしの海」。「朝が海からはじまり」つぎに「海が朝からはじまる」。

2 3小節～と4 9小節～:「わたしの朝は太陽よりも先に始まる」も大事なキーワード。間違えないで!

4～5頁目

「おきへーおきへー」:各パートが「おきへー」「おきへー」「おきへー」と言っていく。

最後の「おきへ」で最高潮に!

T 1は他の3パートが最後の「おきへ」で合わすところまで「へー」と延ばす。大きくして。

BR:「おきへーーおきへ」の最後の「おきへ」しっかり合わせて!

T 2:最後の「おきへーおきへー」が甘い!ノンレガートで歌う。

T 2・BR・BSさいごの「おきへ」揃えよう!指揮を見て!

(この曲は、沖から魚の大群が(おそらく鯛か?)大きな魚に追われて涌くように群れて押し寄せてくるイメージ。それを追って船を沖へ沖へと運んでいく情景!)

(この曲は全員が揃った声で、”一糸乱れずに歌うこと”でないとおもしろくない!!揃えて一斉に沖へ行ってくれ!歌い切ること。)

4 7小節「うおのわくーうみへー」:4パートまず揃えること!

BR:「くー」で切りすぎ。延ばす。「うみへ」の「う」が早すぎる。

BS:遅れる。遅れないで!「のわくー」が甘い。

T 1:イメージつくって言葉に表す。「くー」を少し残して、早く切らないで。次の「うみへ」へ続けて!「うみへー」の「へー」に表情が欲しい。

T 2:リズム揃えて!揃っていないよ!

5 3小節から最後まで「ふかいうみー ～ おおー」

BR・T 1:「拍」をきっちりはねないと、BS・T 2の旋律とかみ合わない。きっちりリズムはめてほしい。2・3か所で遅れている。

T 2・BS:「わたしのあさははじまる」もう少しボリュームが欲しい!「はじまる」の「ま」がやや遅い。

BR・T 1とBS・T 2はどちらが主旋律?レガートの方がメイン。T 1とBRがメインで歌う。

T 2はそれを追うように歌う。あまり大きな声出さない。BSは低い声の連続でこのボリュームでよし。T 2が大きいとうるさく聞こえるので抑えて。T 1しっかり歌って!BR・T 1が身体から湧いてくる感情のこもった声で表現して欲しい。平板な声ではだめ!ESPRESSIVO:表情豊かに。